

こころ通うあたたかい町政

平成29年度

施政要旨

平成29年第1回大石田町議会定例会が3月3日から14日まで開かれ、庄司町長が町政運営に対する基本的な考えと施策の概要について述べました。

平成29年度の施策のあらましと当初予算についてお伝えします。



最重点施策

- ◎ 「町民交流センター」の完成と、機能を十分に活かせる運営体制を構築
- ◎ 「ふるさと納税」返礼品の充実を図り、全国に大石田町をPR
- ◎ 定住・転入促進のため新築住宅補助制度を施行
- ◎ 「地域おこし協力隊」を受け入れ、移住促進支援や観光・物産情報を発信
- ◎ 国道347号沿線自治体等と連携し広域観光を促進
- ◎ 空き家の有効活用と適正管理のため「空き家バンク」制度を推進
- ◎ 「町民交流センター」を拠点に生涯学習を推進

私は現在、二期目の町政運営をさせていただいておりますが、この5年間一貫して、町民の代表としての立場を忘れることなく、「こころ通う あたたかい町政」を信条としてまいりました。

この間、町民各層からご意見をいただきながら、人口減少に伴う厳しい財政事情の中、少子化対策や高齢者・弱者対策、目まぐるしく変化する農業行政への対応、そして雪対策に取り組んでまいりました。

特に、長年の課題でありました福祉会館の代替施設となる「町民交流センター虹のプラザ」の整備については、本年9月1日のグラウンドオープンに向けて、引き続き全力を傾注してまいります。また、主要地方道大石田畑線「亀井田橋」の架け替えと東北中央自動車道「大石田村山インターチェンジ」の完成も予定されており、平成29年度は町にとって大きな節目の年となります。

平成27年度の国勢調査によると町の総人口は7,357名と、昭和30年の合併から62年を経過した現在、半減するに至っております。今後の町の存続を確かなものとするため、一昨年「大石田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、町の活性化事業、定住対策事業の具現化に取り組んでまいりました。人口対策に特効薬はないと言われ、一朝一夕にはその効果は計り知れませんが、一歩一歩前進していきたいと考えております。

今後とも町民の皆さまの声を聴くことに努め、町民が求めることを把握しながら、町民目線での町政を進めてまいりますので、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

納税対策について

- 差押物件のインターネット公売等の未納対策、納税相談員の配置や徴収アドバイザー制度、口座振替キャンペーンを一層推進します。
- 口座振替やコンビニ収納等を推進し、納税環境を整備して収納率の更なる向上を図ります。

定住対策とまちづくり事業について

- 新しい複合施設「町民交流センター」が各機能を十分に発揮できるよう運営体制を構築します。
- 「ふるさと納税」を町の情報を発信する好機と捉え、魅力ある返礼品の充実を図り、更なる増額を目指します。また、ふるさと納税を財源とした新築住宅補助制度を施行します。
- 資格取得支援事業や6次産業化支援事業、やる気活動サポート事業を継続し、商工業の活性化と町内団体の活動促進に努めます。
- 歳を活用した駅前賑わい拠点の整備を進め、地域おこし協力隊による移住促進支援や観光・物産情報発信を進めます。

保健・福祉関係事業について

- 「大石田町健康増進計画 健康おおいしだ21」に基づいて、健康寿命を延ばすための積極的な健康づくりを支援します。
- 町独自施策の「福祉バス」や「高齢者タクシー」などの取組みを継続します。
- 除雪費用・灯油購入への助成制度や「緊急通報システム事業」などを継続し、高齢者が安心して生活できる環境整備を図ります。
- 出産祝金や中学3年生までの医療費を無料とする子育て医療を継続します。「大石田町子ども子育て支援事業計画」に基づく施策に取り組み、誰もが安心して産み育てられる環境づくりに努めます。
- 国民健康保険・後期高齢者医療の運営にあたって

は、疾病予防はもとよりジェネリック医薬品や在宅診療の啓発などで医療費抑制を図り、健全運営に努めます。

- 平成30年度に行われる国民健康保険制度の県単位化を見据え、安心感の持てる保険制度の構築に努めます。
- 「第7期介護保険事業計画」を策定し、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を図ります。

農業振興事業について

- 認定農業者制度の活用や農地の集積による規模の拡大、集落営農の農業経営の法人化促進に努めるとともに、後継者や新規就農者の確保育成に努めます。
- 新たな制度のもと、農業委員会が農地行政における役割を的確に果たせるよう努めます。

商工業振興事業について

- 商店経営の近代化、サービス向上などを促進し、地域商業の活性化に努めます。
- プレミアム商品券発行事業を支援します。

観光物産振興事業について

- 国道347号関係自治体との連携を図り、広域観光ルートをづくりや広域的PR活動など、広域観光の促進に努めます。
- 友好交流協定を結ぶ涌谷町や国道347号「絆」促進協議会の構成市町、隣接する石巻市などと連携し、交流人口の拡大に努めます。
- 新そばまつりなどの開催を支援し、「大石田そば街道」の賑わいを図り観光客の増大に努めるなど、生産から加工・販売までを一体的に行う6次産業である「そば」のPRに努めます。

道路交通網整備など建設関係事業について

- 「点検・診断・修繕・計画」のメンテナンスサイクルを構築し、道路施設の長寿命化と長期的な維持管理コストの縮減を図りながら、安全で円滑な交通の確保に努めてまいります。
- 流雪溝未整備地区について、安定した水源および流末の確保を含め、国・県および関係機関と調整を図り、計画的に整備を図ります。
- 町営住宅については「公営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な修繕により長寿命化を図り、良好な居住環境の形成に努めます。
- 「住宅リフォーム支援事業」を継続し、住宅のリフォーム工事や耐震改修工事等を支援します。

安心安全のまちづくり事業について

- 高齢ドライバーの免許自主返納に対する支援を本年より実施します。
- 防犯灯LED化推進事業を継続して実施します。
- 危険な空き家について条例に基づき適正な管理を指導するとともに、「空き家バンク制度」により空き家の有効活用を推進します。
- 平成30年度に大石田町を会場に開催される「東北水防技術競技大会」に出場する町消防団を支援し、水防技術の向上を図り方が一の水害に備えます。

教育文化の振興事業について

- コミュニティ・スクールを一元化した「大石田学園運営委員会」を核に、小中一貫の系統性・連続性のある質の高い学校教育と学校づくりに努めます。
- 「町民交流センター」を生涯学習推進の拠点とし、多くの町民が学ぶ楽しみと活動する喜びを共有できる学習機会や情報提供とともに、魅力的な自主企画事業を展開します。
- 本年、大石田町において開催される「県民芸術祭開幕記念式典および開幕記念公演」の成功に向け、関係機関・団体と連携を図り、準備を進めます。

各分野の主な施策